

平成19年度
防災功勞者知事表彰
- 活動事例集 -

奈良県

平成 19 年度
防災功労者知事表彰
- 活動事例集 -
目 次

- ・ 磯野南町自主防災会（大和高田市）…………… 1
- ・ 南市場町自主防災会（大和郡山市）…………… 6
- ・ 新口町自主防災会（橿原市）…………… 10
- ・ 新中町防災会（橿原市）…………… 16

磯野南町自主防災会(大和高田市)

1) 結成の経緯

阪神淡路大震災を教訓にわが町は防災弱者が多数占め、道路事情も悪い(消防車が入りにくい)地域であり、『自分の町は自分で守ろう』を合言葉に1年間の準備をとって、地域に見合った防災組織作りを提案し、住民に協力と理解を求め多くの賛同を得て平成14年9月に自主防災会を立ち上げました。

2) 目的

磯野南町自主防災会は当地に大きな災害『地震、台風、火災等』が発生した場合地域住民一人一人が団結して、知識と行動力を身につけ協力しあい、災害を最小限に抑えることを目的とする。

3) 住宅、住民の構図(近隣を含む)

世帯数 260世帯、人口 550名

小学生 12名、70歳以上100名、独居老人 35名

4) 防災委員

町内を5ブロックに分割、町総代を中心に防災会会長、副会長、ブロック長、ブロック長補佐、防災委員 58名で構成する。

5) 消火栓、消火ホース格納庫の設置

消火栓 8ヶ所

格納庫 5ヶ所 町内全域に機能する

実績 火災発生 3件すべて消防車到着前に初期消火、延焼をくい止める。

6) 防災倉庫、機器の設置

必要最低限の機器

- ・発電機・チェンソー・車椅子・タンカ・梯子
- ・搬送車・バール・ジャッキ・ハンドマイク
- ・消火器・ヘルメット(防災委員全員分)・その他



7) 防災活動

- ・各ブロックで消火栓、防災機器の実技体験
- ・年1回高田消防署の協力のもと消火、人命救助
心肺蘇生法、応急手当、防災機器の実技。

実績 訓練時は女性の参加も多く、100数名の参加で楽しみながら積極的取り組み大変成果があった。



8) 今後の活動計画

- ・地域住民に防災に対する知識の向上と参加の呼びかけ
- ・年1回総合訓練、各ブロックでの消火訓練、防災機器の点検及び体験
- ・各地での講習会、講演会への参加
- ・避難場所での炊き出し訓練
- ・女性を含む防災、防火隊の強化

9) 今後の課題

- ・女性消火隊の強化
- ・寝たきり老人(14名)の救助方法の確認
- ・行政との連絡を密にし広域避難場所の耐震設備は-----、
- ・災害発生時の医師、看護師の確保-----、
- ・市町村合同の避難、防災、防火訓練の実施-----、

回覧

平成19年5月30日

お知らせ

平成19年度 防災訓練計画

防災会会長 羽入田 康邦
リーダー 松谷 勝

去る4月29日 自治会総会でお知らせいたしました、今年度の
防災訓練内容をお知らせします。

- (1) 防災資機材の展示、使用方法の説明。(5月13日町民参加で終了)
* 多数のご参加有難うございました。
- (2) 人工呼吸、心臓マッサージ等の心肺蘇生法(AED)使用します。
- (3) 防火訓練(消防署の協力)
- (4) 資機材の安全使用の訓練(各ブロック別)
- (5) その他

* 実施日及び詳細は後日お知らせします。
(都合により変更になる場合があります)

以上

【自分の町は自分達で守る】

自主防災のご協力をよろしくお願いいたします。

回覧

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

平成18年10月26日

防災訓練（スケジュール表）

防災会会長 羽入田 康邦
リーダー 松谷 勝

11月5日

- A, このスケジュール表は各ブロック長及び本部の方のみお渡し致します。
- B, 今回は訓練も大切ですが楽しく参加していただくと云う事を目標としております。
- C, 各ブロック長同志確認し合って会場設置、受け付け等を防災委員に伝達、指示をお願いします。
- D, 当日、市消防署より隊員10名(人形4体)が参加していただきます。訓練場所は3,4ヶ所に分かれて行います。
- E, 実技は全員参加できませんので予め人選してください。
- F, 時間の都合により内容に変更あります。時間の調整は消防署にお任せしております。

ブロック長へ当日持参するもの標旗(雨天の場合は不用)
防災記録帳、ボールペン、スケジュール表を持参して下さい。

スケジュール

- 1、 8 ; 45分頃受付開始、9 ; 10分頃全員集合。
消防隊長挨拶、リーダー開会宣言。
- 2、 応急手当---女性の方もお願いします。
心肺蘇生法---あまり高齢者で無い方。
- 3、 実技終了後、1ヶ所に集合し地震の話、火災報知器の説明。
- 4、 終了後、会長、副総代挨拶(一般の方解散)
- 5、 各ブロックごとにミーティング今後の課題等(あまり長くない様に)
- 6、 片付け解散、各ブロック長は後日防災委員、一般参加者の人数を記入、総評を添えて本部に提出して下さい。

以上

第2回 **防災講習会**のご案内

今年も、礒野南町、礒野東町合同の防災講習会を次の通り開催いたしますので、ご近所お誘いのうえ是非ご参加ください。

記

- 1、 日時 11月16日(日) 午後2時～3時半頃まで
但し、雨天の場合は中止します。
- 2、 場所 礒野中央公民館
- 3、 主なる内容

消防署員の講話
防災映画の上映
消火の実技
煙中避難(ハウス内)
その他

(共催)礒野南自治会。礒野東自治会。公民館運営委員会。

みんなは一人のために、一人はみんなのために

火の用心につとめましょう。

最近町内において、空き巣ねらいがおきています。

防犯にも、充分注意しましょう。

南市場自主防災会（大和郡山市）

1．経緯

南市場自主防災組織は、大和郡山市筒井町南市場自治会の傘下団体として平成18年9月に設立されました。阪神淡路大震災を初めとし、近年災害が多発する中、災害発生時に近隣住民が協力して救出・救護を行い共助の精神に基づいた活動をしていくことを理念に掲げています。

2．組織

南市場自治会は、316世帯667人で構成されており、その傘下団体である南市場自主防災組織は役員20名、自治会組班長23名、防災委員10名が中心となり組織を運営しています。

3．活動内容

活動の一つとして、自主防災組織独自に奈良県と同じ方法（第2次奈良県地震被害想定調査報告書による方法を基に）で奈良盆地東縁断層帯地震や生駒断層帯地震及び中央構造線断層帯地震について当該自治会内の地震被害予想を行っています。（表1参照）

また、水害についても同時に考察しています。（写真3参照）

この被害予想を元に消火救出隊については、被害の集中している自治会中心部だけではなく、組単位の小集団を編成し、近隣の住民が迅速に駆けつけられるように組織しています。

周辺には昭和工業団地があり、災害時には避難場所としてホテルや工場敷地の提供を企業に対して求める協定を締結しました。自主防災組織としても事前準備として防災資機材を充実させるため、防災バケツを作成し各戸に配付（写真5参照）、独自に防災資機材用台車をつくり各班に設置を予定しています。自作の台車には防火用の水（災害時には生活用水として活用）や自作のバール、防災バケツ、消火器などを設置します。（写真6参照）

防災ボランティアも募集し、防災会全体として75名がボランティアとして登録されました。防災リーダーの講習も昨年度3名の方が受講され、組織内でも活躍されています。また、防災のみならず、防犯部会、見守り部会も組織内に設置、月2回の夜間パトロールや児童の登下校時の見守りも実施し、地域全体が一丸となった活動を展開しています。

(表1) 南市場自治会地震時被害予想

| | 木造 震度6強 | 木造 震度7 | 非木造 震度6強 | 非木造 震度7 |
|------|------------|-----------|-------------|------------|
| 夜間人口 | 441人 | 441人 | 226人 | 226人 |
| 滞留人口 | 464人 | 464人 | 538人 | 538人 |
| 全棟数 | 137棟 | 137棟 | 56棟 | 56棟 |
| 全壊棟数 | 40棟 | 98棟 | 7棟 | 15棟 |
| 半壊棟数 | 43棟 | 22棟 | 3棟 | 5棟 |
| 死者 | 5人 | 9人 | 5人 | 10人 |
| 負傷者 | 12人 | 16人 | 13人 | 17人 |



写真1：活動の様子



写真2：活動の様子

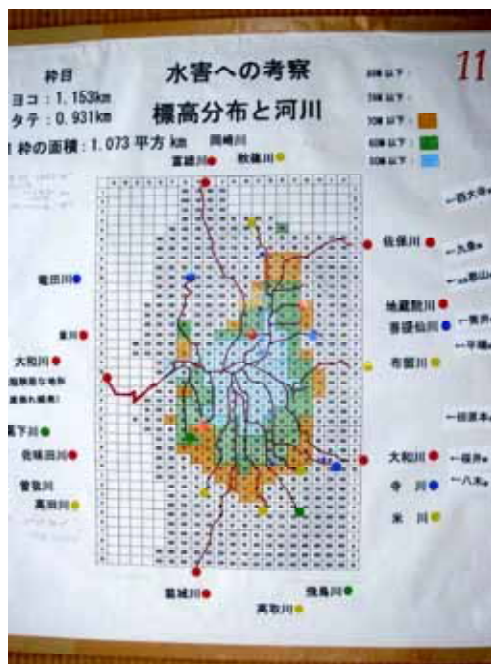


写真3
地震だけではなく水害も考慮



写真4
地震終了後の動き



写真 5 : 防災バケツを各家庭に配付



写真 6 : 自作の台車・バール等

新口町自主防災会(檀原市)

1. 地域の沿革

新口町は檀原市の北西部に位置し、ひと昔前までは農業を中心とした田園に囲まれた町でしたが、近年、開発が進み今ではほとんどが宅地化され、人口、世帯数とも増加しました。また反面、少子高齢化、核家族が進んでいます。約330世帯の住民の多くは大きな風水害や地震災害の経験が無く、防災に対する意識は希薄であると言わざるを得ませんでした。

2. 組織の設立

当組織は平成11年12月頃より組織づくりを開始し、平成12年度には本格的な活動に入りました。自治会長をトップに自治会の役員、壮年会のメンバーが中心として行動隊(80名)を組織し、その中に以下の班を編成しています。

- 情報班
- 消火班
- 避難誘導班
- 救出・救護班
- 給食・給水班

3. 年間の活動内容

| | |
|------------|---|
| 年1回の総会 | 総会時に研修会を実施(行動隊中心) |
| 役員会 | 約2ヶ月に1回開催し、活動、訓練の打ち合わせをおこなう |
| 防災訓練 | 5・11月に全世帯を対象にした訓練を実施 (中和広域消防組合・檀原市消防団の指導、協力) |
| 行動隊研修会 | 年2回、消火ホース延長訓練や資機材使用講習会 |
| 訓練及び資機材の点検 | 月1回各班ごとの消火訓練や消火栓及び消火器の点検 危険箇所の点検を実施 |

4. 訓練の成果と課題

消火器(水消火器)による初期消火訓練

毎月1回の公民館清掃時に定期的に行っている。最初の頃は尻込みし参加者が少なかったが、回数を重ねるうちに参加者も増え積極的に訓練を実施してもらっている。

② 消火ホース接続訓練

日頃から実際に手に触れる機会を多くすることで緊急時に対応できると感じている。平成17年には、町内で火災が発生、訓練の成果が生かされ、消防車到着までに鎮火できた。

③ 避難誘導訓練

各一時避難場所から避難所への誘導訓練を班長の指揮のもと実施している。今後の課題としては災害時要援護者の避難支援及び安否確認が挙げられる。また、避難所における互助精神が問われる。

④ 救出・救護訓練

毛布を使つての担架作成等、身近な道具を活用しての訓練を実施している。これからも毎年実施し、より多くの人に体験していただく予定。

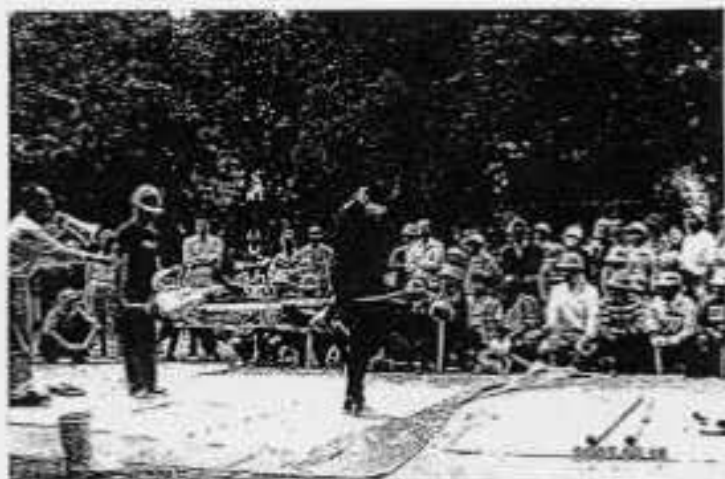
⑤ 給食・給水訓練

炊き出し訓練のほか、近くのスーパーやコンビニ、飲食店に災害時の食料等の提供をお願いをしている。

生活用水の確保は町内2箇所の池の用水をポンプで汲み上げ農業用タンクに貯水する訓練をとり入れている。

まとめ

発足して7年の組織ではありますが、確実に住民の防災に対する意識は高まっていると考えています。これからも、訓練や講習会を通して、なお一層、充実した活動を行っていき、安全・安心の街づくりと災害発生時の被害を最小限に食い止めるよう努力したいと考えています。



回 覧

平成19年4月27日

自治会会員 各位

新口町自治会
会長 田中 隆

お知らせ

I. 通井張り 平成19年5月13日(日)

午前8時(小雨決行)

各班作業場所へ集合、随時開始

- ※ なお、中止の場合は午前7時に各班長様へご連絡いたします。
- ※ 市清掃車への積み込みの為の人数は、各班にて確保し待機してください。
- ※ 各班長は終了後、新口公民館前でお茶の配布を受けてください。

II. 新口町自主防災会 防災訓練

午前10時ごろ通井張り終了後開始

(開始前30秒間サイレンを鳴らします。)

場所：須賀神社境内

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------|
| (1) 心肺蘇生救急救命訓練 | 〔 中和広域消防組合 檀原消防署・第4分団 |
| (2) 簡易担架作成及び担架搬送訓練 | |
| (3) 鏡池・防火用水清掃及び、簡易消防ポンプによる防火用水の入れ替え作業 | |

- ※自主防災会行動隊員は、ヘルメットを必ず着用してください。
- 各班別にヘルメットにシールを貼付いたします。

自主防災会防災訓練要項

平成19年5月13日(日)

須賀神社、新口町公民館前広場

午前10時 開始合図、サイレン30秒間 (三井田)

- ・ 進行 副会長 大井 孝益 (ハンドマイク)
- ・ 会長挨拶 田中 隆
- ・ 第四分団長挨拶 西岡 秀悟

訓 練 >

自治会各班別プラカードの前に整列 (班別プラカード・名簿)

- ・ 簡易担架作成および搬送訓練 (簡易担架用の竹及び毛布)
(自主防災会 救出・救護班 担当)
各班より3名1組で参加 18組 54名
- ・ 心肺蘇生・救急救命訓練 (ビニールシート及び上敷き)
(中和広域消防組合及び榎原消防署第四分団担当)
人形3体使用し各班より2名づつ36名参加
- ・ 簡易消防ポンプによる防火用水の入れ替え作業 (簡易消防ポンプ)
消火班担当
- ・ 訓練終了の挨拶 副会長 細山 和郁

訓練終了後

鏡池清掃 (行動隊全員) (清掃用具一式)

行動隊の班別シール・ヘルメットに貼付 (机・班別シール・名簿)

行動隊別の訓練詳細（全員ヘルメット着用）

| | | |
|--------|---|--|
| 本部 | 本部設営 サイレン・避難発令 トランシーバー 防炎無線 | マイク放送 1館内 1回目 9:00 30秒間 2回目 9:30 30秒間 の使用訓練 |
| 情報班 | 避難住民の確認と 識別誘導 緊急救護物資、輸送配布 | 名簿とシールによる識別 入口、倉庫より出庫、避難所 炊き出し場所へ輸送（軽トラック） |
| 消火班 | 防災倉庫の点検 エンジンポンプによる生活用水 確保、ポリタンクによる輸送 | 水消火器による 消火訓練 |
| 避難誘導班 | 本部の指示で3ヶ所 集合場所より避難所まで住民誘導 避難所での識別誘導 | |
| | 緊急物資の配布 赤、ピンクシール 病人誘導、避難所 オレンジ、黄、グリーンシール 一般避難 | |
| 救出・救護班 | 避難所での救護所開設 ・担架による救出 ・簡易担架の作り方 ・三角布の使い方 | 防災倉庫から前日搬送 |
| 給食・給水班 | ・豚汁の炊き出し ・アルファ米の炊き出し ・水、お茶配布 | 前日準備品点検 炊き出し場所設営 前日搬入 |

多地区合同防災訓練

日時：平成18年11月19日(水)日
午前9時～12時(雨天決行)

会場：多地区公民館 他
AM9:00集合

参加人数：新口町自主防災会行動隊+各班3名
飛鳥荘園自主防災会 70名
西新堂町自治会 20名
総数 約160名～170名迄

訓練内容：①各地区避難集合場所より多地区公民館への住民の避難誘導訓練
(班長・避難誘導班)
②避難場所での対処訓練(老人・乳幼児・病人・要介護者の識別)
(情報班・避難誘導班)
③緊急救援物資搬送、配布訓練(毛布・食料品・水など)
(情報班・避難誘導班)
④生活用水確保訓練(エンジンポンプ活用)
(消火班)
⑤救護担架、毛布担架の作成と搬送方法の実演訓練
(救出・救護班)
⑥炊き出し訓練(豚汁)
(給食・給水班)
⑦天ぷら油 消火器による消火訓練、水消火器による消火訓練
(消火班)

研修会：訓練終了後
○多地区自治連合会長 挨拶 田中隆
○榎原市防災安全課 講評
○榎原消防署第4分団長 講評
○反省点問題提起(本部)

新中町防災会(檀原市)

1. 設立の経緯

新中町は30年程前に開発された住宅地です。現在でもかなりの高齢化が進んでおり、また子どもの数も少なくなっています。平成16年、自治会館の新築が進むなか、新潟中越地震の発生や、奈良で小学生が犠牲となる痛ましい事件が起き、防災・防犯等への漠然とした不安が生じていました。"たすけあい"の雰囲気失われつつあることは以前から危惧されていたので、コミュニティの「核」となるような活動を新たに始めようと着目したのが自主防災組織です。

これにより人間関係の希薄化をくい止め、住民の交流が図れるような"まちづくり"を推進しようと考えました。翌平成17年には新自治会館が完成し、4月より自主防災組織の活動も始まりました。

2. 防災会組織の概要

新中町防災会は耳成地区中町内の204世帯からなり、会長以下の役員並びに情報班・消火班・給食班・防犯班・救出救護班・避難誘導班の各班長で構成され、「身の丈サイズ」の計画を住民みんなで立案、そして実施し、行政による「公助」だけではなく、自ら助ける「自助」と地域で助け合う「共助」が育ち、安心・安全な中町を築いていく」をスローガンに活動しています。

3. 平成18年度活動状況

| 事業 | 名称等 | 年月日 | 内容 |
|--------|----------------|-----------|------------------|
| 訓練 | 第1回救護訓練 | H18.4.16 | 日赤より講師を招き救急法の講習 |
| | 檀原市総合防災訓練 | H18.10.15 | 市総合防災訓練へ7名参加 |
| | 第2回防火訓練 | H18.12.10 | 炊き出し訓練・消火訓練 |
| 研修 | 檀原市地域防災セミナー | H18.5.14 | 市防災セミナーへ7名参加 |
| | 奈良県防災リーダー研修 | H18.8.5 | 県防災リーダー研修へ3名が参加 |
| | 〃 | H18.9.3 | 〃 |
| | 〃 | H18.10.15 | 〃 |
| | 防災気象講演会 | H18.11.9 | 防災気象講演会に2名が参加 |
| なかまっ茶屋 | 檀原市地域防災セミナー報告会 | H18.5.21 | 市防災セミナーの報告 |
| | ワークショップに向けて | H18.6.18 | 防災グッズについて |
| | 防犯講習会 | H18.11.19 | 檀原警察署より講師を招き防犯講習 |

| | | | |
|-------------------------|------------------|----------|-------------------|
| ワー クシ ョ ッ プ | 第1回ワークショップ | H18.7.23 | 県河川課職員を招き川について考える |
| | 第2回ワークショップ | H18.8.20 | 防災器具・用具について |
| | 第3回ワークショップ | H18.9.23 | 防災器具・用具について |
| 講座 | 「ほのぼのひかり」作成 | H18.8.19 | 防災用あかりについて |
| | 知って得する講座 | H19.1.21 | 家具転倒防止について |
| | 知って得する講座 | H19.2.21 | 家具転倒防止について |
| 総会 | 平成18年度 防災会総会 | H19.3.25 | |
| その 他 | 第1回 新中町燈花会 | H18.8.19 | |
| | NHK 奈良 防災会紹介番組放映 | H18.8.25 | |

新中町防災通信



緊急避難場所は耳成小学校です 第3号(2007年3月25日)

編集:新中町防災会

平成18年度 防災活動報告

4月16日 第1回救護訓練

講師:西久保課長(日本赤十字社奈良県支部)から約30分救急法について講義を受けました。その後、参加者35名が8グループ(4~5名)に分かれて訓練を行いました。



5月14日 橿原市主催地域防災セミナー 防災会から7名が参加

5月21日 なかまっ茶屋 地域防災セミナー参加報告

橿原市主催の「平成18年度橿原市地域防災セミナー」～地域の防災力を高めよう～内容報告と停電の時に手軽に作れるあかり「ほのぼのあかり」の作り方の実演をしました。



6月18日 なかまっ茶屋 ワークショップ

みんなで「わが家の防災グッズ」を考えました。それぞれわが家の防災グッズを紹介。防災防犯・コミュニティ活動に必要なものは…いろんな意見や工夫…、とても参考になりました。



7月23日 平成18年度第1回ワークショップ

「第一部の講座」

我が中町の横を流れる「寺川」の川づくりや氾濫警戒雨量などについて、奈良県土木部河川課の方々にお話をお聞きしました。

寺川の雨水処理能力は10年に1度の水害発生率を前提にした1時間50ミリの雨量に耐えられる設計になっている。

水質環境はやや悪く、きれいな川づくりに取り組む必要がある。その原点に各家庭排水の水が影響していることがわかりました。

「第二部のワークショップ」

身近な問題として「防犯」「防災」「まちづくり」を進めていく上でどのような設備や用具が必要なのかについて予算や実現性を考慮しない自由な発想での論議を全員で話し合いました。

防災三種の神器はラジオ・携帯電話・水という結論に達しました。



8月5日 奈良県防災リーダー研修 へ3名が参加

8月19日 新中町燈火会

午後13:00～防災用「ほのぼののひかり」製作・実習講座 実施！
防災会、子ども会、親睦会が中心になって防災用「ほのぼののあかり」を作成しました。
目標の204個(我が自治会の世帯数)の内、子どもたちが40個、残りの164個を大人達で作成しました。
そして夕刻、無事に204個を北公園に設置できました。
ゆらゆらと揺れる炎で心が癒され、炎の「怖さ」と「ありがたさ」を大人達は再認識し、子どもたちは、学んだと思います。



8月25日 NHK奈良放送「新中町防災会」が紹介される

8月19・20日の両日、NHK奈良放送局から防災用「ほのぼののひかり」の製作・実習講座と、第2回ワークショップの状況の取材を受けました。
自主防災組織結成から現在に至るまでの経緯についてインタビューも受けました。



その様子が平成17年8月25日(金)午後6時10分～7時00分の中で約5分間放映されました。

今回の取材は、9月1日が「防災の日」であることをにらみ、奈良県内で自主的に特色ある活動をしている自主防災組織をクローズアップし、防災力を高めていくために現場の声と映像をとらえることを意図して行われたようです。

9月3日 奈良県防災リーダー研修 へ3名が参加



9月23日 平成18年度第3回ワークショップ

前回までのワークショップでリストアップされた防災・防犯設備や用具の具体的な必要性について自由な発想でワイワイガヤガヤトークしました。
地震発生が昼間だったら、団地にいる人は女性・子供・高齢者が中心になる。
そのように考えると災害遭遇時の行動はまず、自分自身の安全を図る。
その上で余裕のできた段階で隣近所の救済に向かう。
その範囲を徐々に広げていく・・・
早い段階での外部支援は望めないとして私たちの防災対策の現状は実際に防止策を講じている人は少ないようです。



防災は”できることから、身の丈サイズで”

10月15日 奈良県防災リーダー研修 へ3名が参加

10月15日 平成18年度榎原市総合防火訓練7名が参加

11月9日 平成18年度防災気象講習会 防災会から2名が参加



11月19日 なかまっ茶屋 榎原警察から講師を招いて防災講習会開催

講師に沼田晴都氏(榎原警察署生活安全課)を招き「身近な犯罪被害の防止」について話を聞きました。
「ひったくり」「車上狙い」「自動車盗」などの街頭犯罪は増加傾向に～”私は大丈夫”と思うところにスキあり
(ひったくり)被害者の99%が女性。自転車にはひったくり防止ネット/荷物は車道と反対側に等々
(車上狙い)～ちょっと位が犯人のツクメ～犯行時間はわずか10数秒。監視の目がある場所に停める。
死角は避ける/現金・貴重品・バックは置かない/キーをかける/窓を閉める
(自動車盗)被害の大半は駐車場～犯人は下見をする～定点カメラ・人目のない所。ハンドルロック棒・フェンス・カメラ/近所の声かけ・パトロール
(空き巣・忍び込み)～最近の泥棒は不自然さが無い～洗濯物で判断。
泥棒の弱点は(音・光・時間・人の目)/施錠(トイレ・風呂場)/1ドア2ロック/見慣れない人には注意/
(車の色・ナンバーを記録)
(詐欺)～預金通帳番号の聞き出し～集金詐欺は高齢者が狙われる。/1人暮らしを悟られないようにする/電話で「振り込め」「警察・消防です」はまず疑え/自分でできることは自分でする/情報を共有し、教えあう/町をきれいにして死角をなくする/
(子ども被害)～親切・やさしそうに見えても知らない人にはついていかない～
子どもの携帯ブザーをチェック(電池・使い方・取り付け箇所)/子どもに助けを求められたら事件だと思い、不審者などの情報を警察などへ通報/



12月10日 第2回防火訓練を実施

[第1部] 炊き出し訓練 <時間> 11:00～13:30 自治会館
榎原市からお借りした調理器具を使用して、炊き出し訓練
(豚汁100食分と、アルファ米100食分)を調理しました。
アルファ米は非常用の保存食(賞味期限5年)で、お湯を入れて
20～30分蒸らすだけで出来上がります。
その後、昨年よりさらに美味しくできた豚汁とアルファ米を
参加者全員で和気藹々と試食しました。



[第2部] 消火訓練

午後14:00～15:30より北公園で消防団(第4分団)にご指導をいただきました。

参加住民が二班に分れて消火器を使用しての消火訓練と、バケツを使用しての消火訓練(バケツリレー)を実施しました。



1月21日 知って得する講座 「防災に生かす知恵と心構え」を開催

地震時に自治会館内の家具が転倒する危険性について参加者で(17名)で考え、転倒防止のための様々な対策案を出し合いました。壁には家具を固定できる部分とできない部分があることを、皆様ご存じでしたか? 参加者の中に適切な固定場所を探すための器機をお持ちの方もおられて、大変勉強になりました。その一方で、実際の対策が建築構造物に影響する場合もあり、素人では判断しづらい面があることもわかりました。



2月21日 知って得する講座 「防災に生かす知恵と心構え」を開催

今月も引き続き、防災会の防災士3名による「知って得する講座」を実施いたしました。今回、自治会館を設計・施工を担当された積水ハウスの建築技術者4人にお越し願って、家具転倒防止策等について教えていただきました。何処に木製下地があるのか、磁石や、SUPER PUSH(1000円)を使って簡単に見つける方法を教えていただきました。



その後、自治会館のセパレートされた食器棚の止め方、開き戸の止め方などを、実際に留め金を使って実施しました。既にお家で取り付けられている方から、参考になるお話をさせていただきました。



来年度も引き続き「知って得する講座」を開催いたしますので奮ってご参加下さい。